

## 人権等に関する行事予定

### 《7月》

- 2日 ユネスコ加盟記念日
- 11日 世界人口デー
- 13日 生命尊重の日
- 21日 海の日
- 26日 ポツダム宣言の日

### 《8月》

- 6日 広島原爆の日
- 9日 長崎原爆の日
- 15日 終戦記念日

### 《9月》

- 1日 防災の日
- 9日 救急の日
- 12日 宇宙の日
- 15日 敬老の日
- 21日 国際平和デー
- 23日 秋分の日
- 24日 清掃の日



みんなちがって、みんないい

考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心

「わたしの平和作文コンクール」で、本校の5年生 水野 拓未 さんの作品が最優秀賞を受賞しました。震災での体験をもとに、やさしくて平和な世界にしていきたいという思いが書かれてる「ひとつの世界」という作文です。本校でも、平和や優しさ、思いやりについてみんなで考えていきたいと思ひます。

まきな世けさた自やみ らうか どりなとぬは屋前すた災てP は使た三でちり飲のそ水 だおきのつ  
すつり界をし。分さでぼせか。世しまつもい '根にともなきE 震とえ十年すのしんでうをぼつ母れ二ゆ 「  
。とたの考く人もし 'くる。な界たしたあぐオま 'ラのあま一 災てな日前。今てです飲たさい十を七  
世 'い人えなはいく見はのどぜで。たよりのしで大りでつとかもい間のその '病。はみたらんで五し十五  
世界やとみるれ 'つしつ 'でう 'は。うまみス水こアすたたから不 'で震ん生命気食な 'ち'か安人の五  
はさいんとるやかてけそしし飢。日なせをトにうの。日。か数安温も災な活をにべい好はでら全はぐ人  
ひしうな 'のさでくれたよたえな。本気ん作ラつ水小ぬ本オれケでか 'の生は落な物人き '読借なそこ食  
とくやが争だしくるたう答うらでぜ '外ちでてアつあ生ぐ子スク後た。食道 'があすたなが物ただたをでるべ  
つてさ 'いとくしたうえか。みし戦。のにもくになつはるとトマ。べか改どた人りか 'をりも本飲はが物  
な平し国が思てと一気、みんむ争。国な 'れ行りて 'みもラの弟。物らめれりが 'つ世食前の 'めああの  
の和い境おいてと一気、みんむ争。国な 'れ行りて 'みもラの弟。物らめれりが 'つ世食前の 'めああの  
でな気をこまをもスがこの。な人が。をつなたつし '日をたりぬが。が水てだ前い戦た界べのでせまりりた  
す。世持こるすらしトしの。が々お。てん小たの家本作ちアい幼。なが感けのる争りにらす界せままく  
。界ちえの。うたラま。初 'だ学こそをのつにのぐ稚。い出じ大このに 'はれう。がんせすわ  
ににてで自といりしマ。め心か生とう流震てつ小る園。 'なま変とでまよたまに。も。ん。え。でが  
なな人す分 'とアたの。くるの。感温友話なすれのれつ生をら。そいしかですきごくす。し。でが  
るつの。他思の。ぬ。平の。で。じかだしい。た二たてがも。 'な電。ぼなぼまたんしれ。人れ七 'り  
とただこにい人ぼい。和でし。たくちたしぼりケおく 'らH。生気たくいくれ水いかい。の。は。人。あ  
い 'にらだやしにはる。く。 '月。れ。震。つ。O。活が。つ。は。の。た。た。を。る。し。な。村 'は。と。雨

ひとつの世界  
稲荷第一小学校 五年 水野 拓未

水野拓未さんは  
水戸市平和大使として  
8/6 広島県で行われる  
平和記念式典に参加し  
ます。  
また、8/16には水戸芸  
術館で平和作文朗読発  
表会で発表します。

## 人権についてのお話

### 茨城県にいる外国人は何人？

現在、約220万人の外国人が日本に暮らしています。そのうち茨城県には、約5600人の外国人が生活しています。

(2009年9月4日政府公表)

### アメリカ独立記念日(7月4日)

1776年7月4日、アメリカ13州がイギリスから独立を宣言しました。この宣言は、「人間は生まれながらに自由、平等、幸福を追求する権利をもつ」ことをうたい、民主的な政治の基本を示しています。1783年、アメリカは独立することができました。

2014年(平成26年)6月19日(木曜日)

児童ら盲導犬を体験

4年生総合的な学習「盲導犬キャラバン」茨城新聞(2014.6.19)

福祉について学習している4年生の活動が紹介されました。

盲導犬の誘導で障害物を避けて歩く児童(18日、水戸市大車町の市立稲荷第一小学校で)

「(県獣医師会後援)が開かれた。日本盲導犬協会の職員2人がラブラドルレトリバー2頭を連れて同校を訪れ、実際に訓練を披露した。

4年生44人が参加。職員が盲導犬の役割を説明したほか、児童4人が目隠しをして、パイプ椅子など障害物を置いたコースで犬のハート(胴輪)を持って歩く体験も行われた。神山優真君(10)は「何も見えませんが、犬とつながる感じがして、犬とつながる感じがして、犬とつながる感じがして」と驚いていた。

この日は、6年半にわたって盲導犬とともに生活している、ひたちなか市東石川、下田みどりさん(60)も参加。レストランで「犬はダメ」と入店を断られたこともあったという。「盲導犬だから大丈夫」と店員さんに声をかけてあげて」と呼びかけていた。

## こころの広場

いつもすれちがう人に、わたしはなかなか声をかけられない。知っている人なのに、わたしのなにかがわたしを止めてしまう。でも次の日、ゆうきを出して「おはよう」といってみたニコッとえがおで声をかけてくれた。わたしの心がホワッとあたたかくなった。そんな小さなしあわせが今のわたしたちにひつような気がする。

平成25年度 人権メッセージ  
小学校低学年部門 最優秀賞  
古河市立仁連小学校 3年 福島 さらら さん



あなたと一緒に考えたい！  
子どもの人権110番 0120-007-110 (全国共通・無料)